

日本初のカニの本、新発売。



カニという道楽

ズワイガニと日本人の物語

西日本でカニと言えば、タラバではなくズワイガニ！
昭和30年代まで、都市部でカニと言えば、カニ缶だった。
ミノも美味しいズワイを都市部でも食べることができるようになるまでの物語。

著者：広尾克子
判型：四六判 250P
本体価格：1500円＋税
ISBN: 978-4-908443-45-9



都市部の人たちがカニを食べ始めたのは、そんなに古い話ではない。
昭和初期にはまだ、カレイの網にたまたまかかったカニを地元の人は食し、残りは肥料として使われていた。

そんなカニが、価値を持ち始めるのは1960年代。
かに道楽を立ち上げた今井芳雄が、冷蔵技術を開発し、都市部に送ることができ、
年中食べることができるようになってから。

そこからカニは都市の人に愛される、そして晴れ晴れしい食べ物になっていったのだ。
本書は、そんなカニ食の歴史と
カニを愛した人たちの記録です。

カニと日本人の関係を掘り下げた本はかつてない。
推薦：秋道智彌

舟盛りでズワイガニ1枚に、なんと200万円の額が付いた！
冬の味覚として深く愛されてきたズワイガニ。巨大なズワイガニで全国展開の夢に道楽、料理人や産地の関係者、カニを産地へ食べ行く「カニツーリズム」……ズワイガニをめぐる掘り広げられる日本人の物語を、多角的な視点から描いた長年の書。

著者 / 広尾克子
1949年大阪府生。関西学院大学大学院社会学研究科研究員。神戸大学文学部卒業後、(株)日本旅行で勤務、主に海外旅行企画に従事。2013年関西学院大学大学院社会学研究科に入学。同科博士前期課程修了、同科博士後期課程を単位取得退学後、現在に至る。著作に「カニ解禁日の情景」(『社会学批評』第5号)、「カニツーリズムのゆくえー北陸地域調査からの考察」(『先端社会研究所紀要』第15号)など。



好評既刊 ● 食の歴史の本
大阪食文化大全

ISBN 978-4-901908-54-2

■著者「浪速魚菜の会」 笹井良隆
■A5 判上製 344P ■2400円＋税

食の都「大阪」の食文化を俯瞰的にまとめた本。図版も満載、ボリュームのある一冊です。

FAX でのご注文 (受注センター)
FAX 06-6310-7057 (TEL:06-6338-3078)
大阪府吹田市南金田1-11-11-202 HP: www.jimotonohon.com ●発行/西日本出版社

書店名(番線)	■ISBN978-4-908443-45-9	注文数(注文品)	冊	ご担当
	カニという道楽			様
	ズワイガニと日本人の物語			日付
	■著者：広尾克子 ■四六判 250P ■定価1500円＋税			
大阪府吹田市南金田1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057				■発売/西日本出版社

書店名(番線)	■ISBN978-4-901908-54-2	注文数(注文品)	冊	ご担当
	大阪食文化大全			様
				日付
	■著者「浪速魚菜の会」、笹井良隆 ■A5 判上製 344P ■2400円＋税			
大阪府吹田市南金田1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057				■発売/西日本出版社